

## 悲劇の木田大時

くま一琉球ぬ王族ぬ眠んじゆる御墓、玉陵。玉陵かいや、王族だけが入ーる所やいびー  
しが、王族ぬ血引かん木田大時や、くまんかい眠んとーんで伝ーらつとーいびーん。

尚真王ぬ御代、大時んで言る若者ぬをいびーたん。くぬ大時、だてーんぬ学問んかい  
優りとーるだけあらん、不思議に、神様と会話する力ぬあいびーたん。うんなある日、  
皇子様ぬ重さる病かかて、困たる王様や、大時御城んかい呼びりたん。

王:大時よ、やー不思議な力し、くぬ子、治ちたらさんがや。

大時:えい!やっ!やな風邪、出じていけー!

皇子様ぬ顔色、だてーん益しないびーたん。

王:んー、くれー見事!りーじ言ん。大時よ、くりからー我つ達側んかい居てーとらし。

大時や、首里んかいまぎさる屋敷頂ち、王様と琉球ぬたみ勧らちやびーたん。やしが、

御城かいや、くぬ大時ぬくと、にーたさる男ぬ達ぬ居いびーたん。

男 A:王様、大時んかいや神通力やねーやびらん。

男 B:皇子様ぬ御病氣や、あぬとち既に治いがたーやいびーる。

男 C:今ー、うまんちゅんからんうむさたさりる大時、くぬままそーちーねー、くぬ琉球手  
ぬ内んかい入りやびーん。

やて、いゆいゆ王様ぬ衆様ぬ前をて、大時ぬ神通力試するくとにないびーたん。

王:大時よ、やーくりまでぬ神通力や、ゆくしんで言る噂ぬ聞かりーしが?

大時:王様、我んねーゆくしえー言ちえーをいびらん。真だる人ぬ道。ゆくしぬねーらん  
まとーばやいねー、真ぬ姿ぬ見ーて來んで思とーいびーん。

王:命掛けてやん?

大時:さり、くぬ命に掛けて。

王:あんしえー、くぬ木ぬ箱ぬ中んかいや、何ぬ入ちよーが。

大時:さり、王様、くぬ木ぬ箱ぬ中んかいや、鼠ぬ三ち入つちょーいびーん。

王:大時、くぬ箱ねー、我ーが鼠ーち入つて、しかと縛し括んちゃん。かわらん、やー  
神通力やゆくしやて、やさー。

大時:ゆくしえー言ちえーをいびらん。箱ぬ中ねー、三ちぬ鼠ぬ入つちょーいびーん。

王:えー!約束通り大時、打ち首!

うぬ時、

王:うつ!くれー!箱ぬなかをて、子なて、鼠ぬ三ち!